ご参考

Press Information

2010 年 7 月 2 日

アルピニスト野口健氏
最新クリーンディーゼルSUV、ML 350 BlueTEC（ブルーテック）で富士山清掃を開始

・　メルセデス・ベンツ E 320 CDI に続き、クリーンディーゼル車を環境保全活動に使用

メルセデス・ベンツ日本株式会社（以下 MBJ、社長：ニコラス・スピークス、本社：東京都港区）は、世界的アルピニストで、積極的な環境保全活動でも知られる野口健氏に、世界で最も厳しいとされる日本のポスト新長期ディーゼル排出ガス規制に輸入車 SUV として初めて適合した ML 350 BlueTEC 4MATIC を提供し、7 月 3 日から富士山清掃をはじめとする環境保全活動に使用されます。

MBJ は野口氏が環境問題に精力的に取り組む姿勢に共感し、クリーンディーゼルのコミュニケーションパートナーシップを締結、クリーンディーゼルの長所である高い環境適合性とトルクフルな走行性能を活かして各地での環境保全活動に使用していただくために 2008 年 8 月にクリーンディーゼルエンジン搭載車 E 320 CDI を提供しました。

本年 5 月には ML 350 BlueTEC の導入にあわせて、野口氏とのコラボレーションによる特別仕様車を発売いたしました。この特別仕様車の売上げの一部は野口氏が代表を務める NPO 法人「セブンサミッツ持続社会機構」を通じて、清掃活動や地球温暖化の調査などの環境保全活動に寄付されます。

このたび野口氏が参加する富士山清掃は、特定非営利法人 富士山クラブが 1998 年から行っているもので、2009 年度は 6,700 人以上の方が参加し、回収されたゴミの総量は 57,000kg を超えています。MBJ は今後もクリーンディーゼルをはじめとする先進の環境技術により、様々な環境保護プロジェクトを応援していきます。

ML 350 BlueTEC 4MATIC　：　世界で最もクリーンなディーゼル排出ガス処理システム「BlueTEC」（尿素水溶液を用いた排出ガス処理システム）を採用したSUVモデル。クリーンディーゼル自動車導入補助制度対象車。

ML 350 BlueTEC とアルピニスト 野口健氏
ナンバーは清掃活動の原点となったエベレストの標高にちなんだもの